

遺愛中学生対象に 『英語キャンペーン』が 開催されています！！

7月31日から3日間、日本学生協会基金主催、読売新聞後援の『英語キャンペーン』が遺愛で行われています。

『英語キャンペーン』とは、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会を運営する東京の大学生のスタッフが、地方の小中学校に出向いて、「英語の楽しさを伝えてくれるプログラム」です。1964年から始まっているので、61回目になるのでしょうか？1年に2校だけ全国の小中学校から選んで来て下さるのだそうです。

ところで全国の小中学校っていくつあるかといわれていますと、2022年現在、小学校が1万9,161校、中学校が1万0,012校です。合計2万9,173校になります。単純に計算すると、全国の全ての小中学校に『英語キャンペーン』が行くには1万4,587年もかかります。1回選ばれるだけでも光栄なのに、遺愛での『英語キャンペーン』開催は今回で2回目となります。

実は1回目は2021年コロナ真っ只中で、オンラインで開催されました。その時は東京からの学生スタッフは来れず、遺愛高校生26人が東京からの指示に従い、お手伝いをしてくれました。今回は、東京から11名+1名（オンライン参加）のえり抜かれた大学生スタッフ（東京大学4人、早稲田大学3人、横浜市立大学2人、津田塾大学2人、明治大学）がじきじきに遺愛に来て下さり、遺愛の高校生



本館講堂で開会式の様子

ボランティア22人と共に「英語の楽しさ」を伝えてくれています。3日間おおいに楽しみながら、英語を学んでほしいと願っています。

2024年7月31日（水）